

地域に根付くJA東びわこの総合事業

①地域に身近な金融店舗づくり

支店窓口機能と渉外機能（訪問活動）のさらなる充実に向け、地域に密着した店舗づくりを目指しています。農業資金に関するニーズに応える体制づくりはもちろんのこと、住宅ローンや自動車ローンなど、地域の皆さまの求めるニーズに迅速にお応えいたします。



②地域に愛される農産物直売所

JA東びわこ管内の園芸作物栽培の増強と、地産地消の取り組みにより地域活性化を図っています。

平成29年度の直売所来店者はおよそ40万人（4店舗計）となり、過去3か年で120%アップとなりました。これからも園芸振興はもとより、地域に愛される直売所であり続けます。



③地域と連携した食農教育活動

平成29年度は「ちゃぐりんキッズクラブ」での体験型食農教育をはじめとして、多くの管内学校等との連携のなかで「田植え」「稲刈り」「出前授業」の実践を行いました。

これからも、実際に「土」や「自然」に触れることで「食」と「農」の大切さに向き合っていきます。



④地域が「農」にふれあえる機会づくり

「農業塾」の取り組みや「貸農園」など、JA東びわこが「農」の窓口となる事業を行っています。これからもさらに多くの「地域」と「農」の接点づくりの創出に取り組みます。



⑤「地域」と「農」の活性イベント

平成29年度は、ひこね市文化プラザにおいて「合併20周年記念祭」を開催し、地域の皆さまに数多くご来場いただきました。食のブースでは地元農産物を使った食事の提供などで好評をいただきました。これからも「地域」と「農」の架け橋となるイベントに取り組んでいきます。



※上記は取り組みの一例紹介であり、JA東びわこはこの他にも多くの取り組みを行っています。

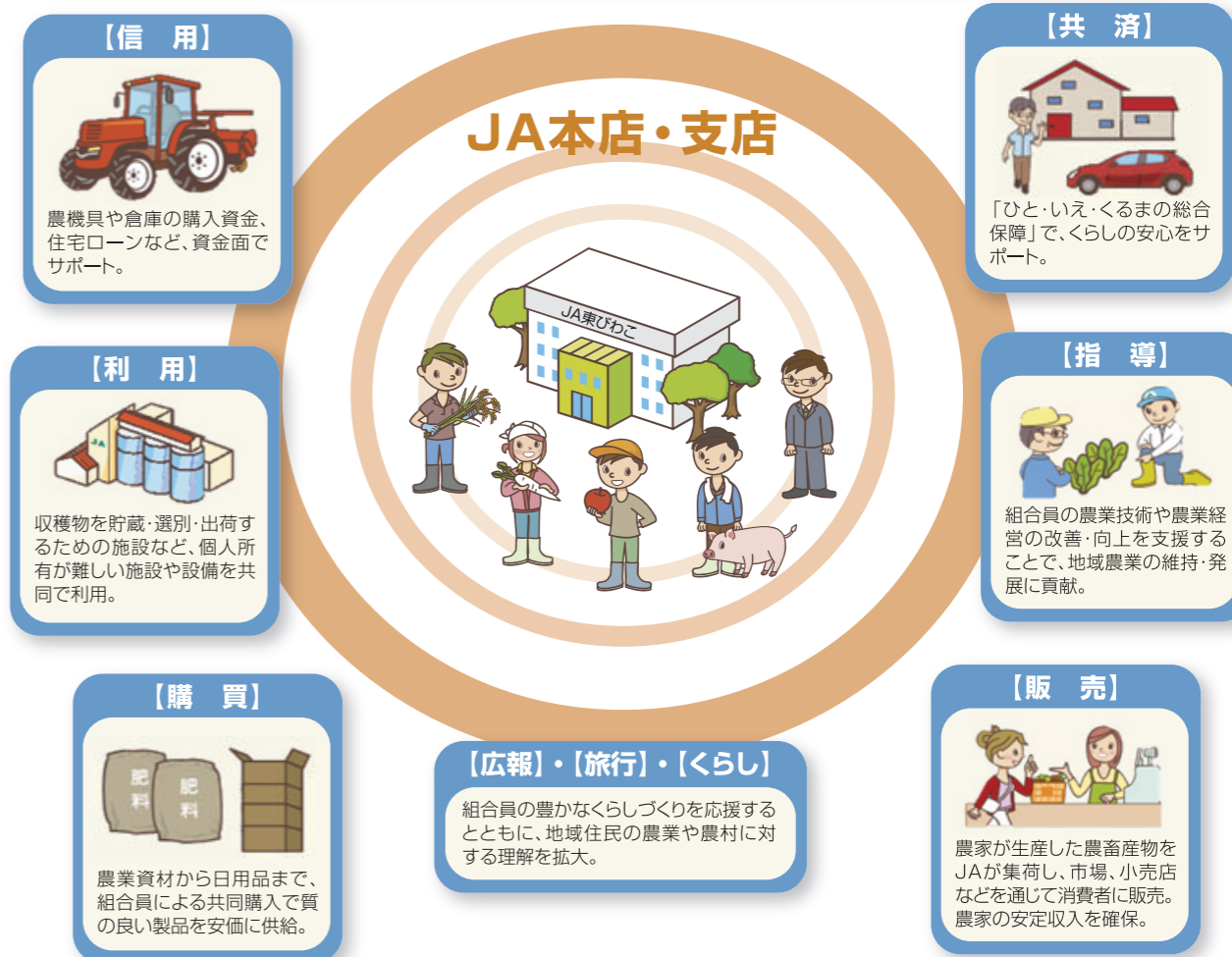
特集

JA東びわこの『総合事業』は組合員の皆さまの農業経営と地域のくらしをサポートしていきます。

JA東びわこは協同組合として、組合員の皆さまの農業とくらしのニーズに対応した様々なサービスを提供する「総合事業」を展開しています。具体的には、下図のような事業に取り組み、組合員の皆さまと地域の皆さまの「利用満足度ナンバーワン」を目指しています。

「総合事業」は組合員にとって、便利・多彩・ワンストップなサービスを受けられる大きなメリットがあります。農家組合員の農業経営はもちろんのこと、全組合員のくらしや地域をサポートすることもJAの大切な目的と考えており、その観点から「総合事業」に取り組んでいます。

JA東びわこの総合事業



Column

准組合員制度について

政府は、JAが農業者の協同組合であることから「准組合員の事業利用について、正組合員の事業利用等の関係で、そのあり方を検討する」こととしています。

現在、地域住民の皆さまにも准組合員になっていただき、JAの事業をご利用いただいています。准組合員の皆さまのご利用は、JAの経営が安定し、農業関連事業の実施や地域に必要な生活サービスの維持が可能となり、事業の効率化やコスト低減につながるなど、農家組合員（正組合員）の皆さまにとってもメリットがあります。

引き続き、正組合員と准組合員とで、JAの事業を通じて地域の農業とくらしを支えあうJAづくりに努めてまいります。